

リニア中央新幹線静岡工区の現地視察について

1. 訪問の目的

- ・ リニア中央新幹線静岡工区については、現在、トンネル掘削に伴う水資源や環境への影響の回避・軽減等について、有識者会議で議論しています。これまでに3回の会議を開催し、議論が深まってきたところですが、議論の中では、現地を見ないと実感が湧かないといった意見も頂いています。
- ・ また、6月11日には川勝知事も、林道の整備状況や、椹島の作業ヤード、燕沢の発生土置き場などを視察されました。
- ・ JR東海が、今月中のヤード整備等の準備の再開を求めていることもあり、有識者会議の事務局を務める鉄道局としても、改めて現場の現況を確認する必要があると考え、本日現地を視察したものです。

2. 現地で受けた説明

本日訪問した施設について、JR東海から以下の説明を受けました。

① 西俣ヤード(図1参照)

- ・ ヤードに設置される濁水処理設備やトンネル掘削土の仮置き場などが未整備である。
- ・ また斜坑の坑口部分で、斜坑掘削に伴う坑口の崩落などを防ぐ斜面補強等も未整備である。
- ・ なお、昨年の台風19号の影響により、整地されたヤードのうち護岸未整備の箇所が被災した。

② 千石ヤード(図2参照)

- ・ 3箇所のヤードのうち、ヤードA及びヤードBは未着手の状態であり、人工林等の伐採や平地の造成、濁水処理設備やトンネル掘削土の仮置き場などが未整備である。
- ・ ヤードCでは作業員用の宿舎を整備中だが、受変電設備等は未整備である。

③ 椹島ヤード(図3参照)

- ・ 請負者の現場事務所等は整備が終了、作業員用の宿舎は整備中である。導水路トンネルの坑口付近のヤードの整地、濁水処理設備やトンネル掘削土の仮置き場、導水路トンネルの坑口部分の斜面補強等は未整備である。

④ 燕沢(図4参照)

- ・ 昨年の台風19号の影響により、燕沢の斜面が崩落したが、発生土置場として予定されている箇所(地名としては燕沢)は燕沢より上流に位置しており、台風の影響を大きくは受けていない。

⑤ 県道三ツ峰落合線のトンネル工事

- ・ 平成30年8月から工事に必要な調査等を行い、昨年秋から本年4月にかけて、トンネルの具体的な線形などについて静岡市のトンネル技術検討委員会で検討を受け、6月10日に静岡市と施行協定を締結したところ。
- ・ 今後、工事発注に向けた公募を行う予定。

⑥ 林道東俣線

- ・ 平成28年8月から工事に必要な調査を行い、平成30年11月から道路上に堆積した土砂の撤去や橋梁の補修等を実施。昨年7月には静岡市と施工区間等に関する協定を締結し、12月に工事を開始した。
- ・ 昨年の台風19号により被災した箇所については、静岡市により応急復旧は終了しており、今年度末には完全復旧予定である。

3. 今回の現地視察で確認できた事項

① ヤード整備等における進捗の相違

- ・ 上記のように、西俣、千石、榎島の3箇所のヤードでは、整備の状況に相違があることがわかった。
- ・ このような相違が生じている要因について、制度面での手続きを含め整理する必要がある。
- ・ なお、本件工事に関しては、工事の内容を準備工事と本体工事の二つに分けて報じられているが、本件については、個別具体の工事に応じて議論されることが適切である。

② 作業員の安全管理

- ・ 林道を通行する作業員の安全について、JR東海からは、林道が完成するまでの間は細心の注意を払い、しっかりと確保するとの説明を受けた。
- ・ このような作業員の安全の確保は、基本的に事業主体の責任で行われるものである。林道東俣線については、管理者である静岡市の管理の下、適切な安全管理が行われるよう、国土交通省としてもJR東海を指導したい。
- ・ なお、このような作業員の安全の確保については、それぞれの関係者がそれぞれの責任や役割を果たす必要があることに留意すべきである。

③ 畑薙橋

- ・ 赤崩の斜面崩壊による影響で、畑薙橋の周辺の河床が上昇しており、出水期には同橋が冠水する恐れがあることから、河川管理者や道路管理者等の関係者間で、今後の対応について検討される必要がある。

4. その他

① 有識者会議との関係

- ・ 国土交通省では有識者会議において、現在、水資源への影響・回避等について議論を進めているところである。冒頭述べたとおり、同会議の委員からは、現地の状況を確認したいとの意見も出ている。
- ・ このため、本日視察した結果については、有識者会議の各委員に報告する予定である。

② 沿線市町との関係

- ・ 本件については、沿線市町(8市2町)の方々も大変懸念されている。一方で、現地の状況についての理解を深めていただくことも重要である。
- ・ このため、今回の視察の結果を沿線市町にも報告するとともに、一昨日にJR東海の宇野副社長からも発言があったが、同社による現地での見学会の開催等も一案ではないか。

(以上)